

# 東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画

---

平成27年度実績報告書

東村山市

## 目 次

はじめに	1
施策の体系	2
平成27年度の取り組み状況	
1. 発生抑制・排出抑制、再使用の推進	
(1) 発生抑制・排出抑制に関する取り組み	
① 生ごみの水切りの促進	3
② 生ごみの自家処理の促進	3
③ 集団資源回収の推進	3
④ レジ袋の削減	4
⑤ リサイクルショップ活動の拡充	4
⑥ ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者向け制度の検討	4
⑦ 事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化	5
⑧ 事業系ごみ(民間収集分)の排出指導	5
⑨ 事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督	5
⑩ 店頭回収の拡大(店頭回収)	6
⑩ 店頭回収の拡大(自動販売機脇回収ボックス)	6
(2) 再使用に関する取り組み	
① フリーマーケット、不用品交換の推進(フリーマーケット)	7
① フリーマーケット、不用品交換の推進(不用品交換)	7
② 家具等の再使用の促進	7
2. 合理的な収集と資源化の推進	
(1) 合理的な収集に関する取り組み	
① 収集形態の変更検討	8
② 収集区分・処理方式の変更検討	8
③ 円滑な収集・運搬の推進	8
(2) 資源化の推進に関する取り組み	
① 生ごみの資源化の推進	9
3. 安全で確実な処理体制の構築	
(1) 安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み	
① 施設の維持・整備の推進	10
② 焼却灰のエコセメント化の継続	10
③ ごみ焼却施設の延命化工事の実施	10
④ 熱回収設備の利用検討	11
⑤ 資源化施設の整備	11
⑥ ごみ処理施設更新の検討	11
4. 情報提供や環境学習の充実	
(1) 情報提供や環境学習の充実に関する取り組み	
① 啓発活動の推進	12
② 講座・学習・イベントの推進	12
③ 集合住宅の排出指導強化	12
④ 学校への出前授業等の実施	13
5. 市民・事業者との協働	
(1) 市民・事業者との協働に関する取り組み	
① 廃棄物減量等推進員の活動推進	14
② 市民組織への支援と協働及び連携の推進	14
③ 市民・事業者との協働の推進	14

はじめに

本報告書は、平成 27 年度東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画の実施状況を取りまとめたものです。

東村山市では、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間を計画期間とする東村山市一般廃棄物処理基本計画を策定し、『低炭素や効率性に配慮した循環型社会の実現』を基本理念として、五つの基本方針に沿って 29 の施策を体系化しています。

これら 29 施策の具体的な取り組み内容や、10 年後の数値目標に向けた各年度のステップを取りまとめたものが東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画であり、進捗状況や社会背景の変化などを組み入れながら、毎年見直しをしていきます。

平成27年度における施策の体系

	基本方針	施策
排出抑制計画	1.発生抑制・排出抑制、再使用の推進	(1)発生抑制・排出抑制に関する取り組み
		① 生ごみの水切りの促進
		② 生ごみの自家処理の促進
		③ 集団資源回収の推進
		④ レジ袋の削減
		⑤ リサイクルショップ活動の拡充
		⑥ ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者向け制度の検討
		⑦ 事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化
		⑧ 事業系ごみ(民間収集分)の排出指導
		⑨ 事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等指導・監督
		⑩ 店頭回収の拡大
		(2)再使用に関する取り組み
		① フリーマーケット、不用品交換の推進
		② 家具等の再使用の促進
収集・運搬計画	2.合理的な収集と資源化の推進	(1)合理的な収集に関する取り組み
		① 収集形態の変更検討
		② 収集区分・処理方式の変更検討
		③ 円滑な収集・運搬の推進
		(2)資源化の推進に関する取り組み
		① 生ごみの資源化の推進
		(3)分別区分と収集方法
処理・処分計画	3.安全で確実な処理体制の構築	(1)安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み
		① 施設の維持・整備の推進
		② 焼却灰のエコセメント化の継続
		③ ごみ焼却施設の延命化工事の実施
		④ 熱回収設備の利用検討
		⑤ 資源化施設の整備
		⑥ ごみ処理施設更新の検討
		(2)処理・再利用の流れ
4.情報提供や環境学習の充実	4.情報提供や環境学習の充実	(1)情報提供や環境学習の充実に関する取り組み
		① 啓発活動の推進
		② 講座・学習・イベントの推進
		③ 集合住宅の排出指導強化
		④ 学校への出前授業等の実施
5.市民・事業者との協働	5.市民・事業者との協働	(1)市民・事業者との協働に関する取り組み
		① 廃棄物減量等推進員の活動推進
		② 市民組織への支援と協働及び連携の推進
		③ 市民・事業者との協働の推進

東村山市一般廃棄物処理本計画は、平成28年度に改訂して新たな施策にそって取り組みを進めていますが、本報告書は平成27年度の実績報告であることから、平成27年度時点の施策体系にそって、取り組み状況の報告をいたします。

## 平成 27 年度の取り組み状況

### 基本方針 1 発生抑制・排出抑制、再使用の推進

#### (1) 発生抑制・排出抑制に関する取り組み

##### ①生ごみの水切りの促進

施策展開	生ごみの水分量を減らすことは、ごみの減量につながるため、水切りを促進していく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃棄物減量等推進員と協働して、水切りアイデアについての情報収集を行い、夢ハウスまつりや市民産業まつりなどのイベントにおいて啓発活動を行った。</li> <li>・ 市ホームページや、啓発紙「ごみ見聞録」で情報提供を行った。</li> <li>・ 美住リサイクルショップで、水切りグッズの無料配布を行った。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

##### ②生ごみの自家処理の促進

施策展開	減量化容器の購入補助を継続しながら、生ごみを家庭菜園やガーデニング等で利用する自家処理を促進し、ごみの減量を進めていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夢ハウスまつりや市民産業まつり等のイベントにおいて啓発活動を行った。</li> <li>・ 市ホームページや、啓発紙「ごみ見聞録」で情報提供を行った。</li> <li>・ 東村山花と野菜の会による、生ごみ堆肥化相談コーナーを月 1 回実施した。</li> <li>・ 減量化容器補助制度の事業継続について検討を行い、平成 28 年度以降も事業を継続していくこととした。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
生ごみ減量化容器補助台数	120 基	37 基	30.8%	1,200 基(累計)

##### ③集団資源回収の推進

施策展開	新聞等の古紙回収については、新聞販売店での回収も定着しているなど、回収量の増加は困難性があるが、宅地開発や新築マンションなども含めて新たな団体の発掘を行っていくとともに、品目の追加について検討を進めていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会などの未登録団体に対し、積極的に参加の呼びかけを行った。</li> <li>・ 廃棄物減量等推進員と協働して、イベントでの啓発活動を行った。</li> <li>・ 回収品目拡大に向け、東多摩再資源化事業協同組合と検討を行っており、次年度も引き続き検討を継続することとした。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
集団資源回収参加団体数	140 団体	141 団体	100.7%	150 団体

#### ④レジ袋の削減

施策展開	市民意識が高く、レジ袋を辞退する率も高いことから、スーパー等の値引きやポイント付与などレジ袋の削減に向けた積極的な取り組みの継続を働きかけていくとともに、ドラッグストアや小売店舗等の未実施店への拡大も図っていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発紙「ごみ見聞録」及び「夢ハウスだより」で、レジ袋削減協力店舗や店舗での取り組み内容を紹介した。</li> <li>・夢ハウスまつり等で、マイバッグ使用の啓発活動を行った。</li> <li>・廃棄物減量等推進員と協働して情報収集を行った。それをもとに未実施店舗への協力依頼を行い、協力店舗数を拡大した。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
レジ袋削減協力店舗数	28 店舗	27 店舗	96.4%	33 店舗

#### ⑤リサイクルショップ活動の拡充

施策展開	継続事業の中でも一定の集約を行い、新たな事業展開を考えていく。また、新規事業については市民を取り込むような魅力あるイベントを計画していく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美住リサイクルショップで開催する各種講習会でアンケートを実施し、講座内容等の見直しを行った。</li> <li>・毎月 1 回、美住リサイクルショップの活動や不用品交換情報が掲載された「夢ハウス予定表」を発行し、市内公共施設で配布した。</li> <li>・リサイクルフェア等のイベントで、とんぼ市（不用品交換）の紹介を行った。</li> <li>・施設の空きスペースの有効活用について検討を行い、売り場スペースを拡大した。</li> <li>・本の無料持ち帰りコーナーを新設した。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
リサイクルショップ入館者数	23,000 人	23,265 人	101.2%	25,000 人

#### ⑥ごみ減量・リサイクルを促進するための販売事業者向け制度の検討

施策展開	ごみ見聞録をはじめとする広報紙やホームページを通じて、簡易包装やレジ袋削減等積極的、先進的な取り組みを行っている事業者の紹介やリストの公表を行い、取り組みの全市的な波及効果をねらっていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発紙「ごみ見聞録」及び「夢ハウスだより」で、レジ袋削減協力店舗を紹介した。</li> <li>・市ホームページで、レジ袋の削減や店頭回収の取り組みを行っている店舗を紹介した。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑦事業系ごみ(行政収集分)における排出事業者責任の明確化

施策展開	事業用指定袋の使用確認により実態の把握をして、対応を検討するための基礎資料とする。少量排出事業者の排出するごみが家庭系ごみに混入しないよう、指導を継続していく。			
平成 27 年度の取り組み内容	・栄町 1、2 丁目の少量排出事業所の排出状況調査を行い、少量排出事業者が家庭用ごみ袋で排出していることが判明した際には、事業系ごみ袋で排出するよう指導を行った。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑧事業系ごみ(民間収集分)の排出指導

施策展開	民間収集運搬業者抜き打ち検査の実施等により、排出事業者の分別減量化を促進するとともに、受入対象外のごみや、他市のごみを搬入する等の不適切な搬入を防止していく。			
平成 27 年度の取り組み内容	・民間収集業者が秋水園に搬入するごみについて、受け入れ対象外のごみが含まれてないか、不定期で検査を実施した。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
検査回数	20 回	20 回	100.0%	20 回

⑨事業系ごみ(事業用大規模建築物)の減量及び再利用等の指導・監督

施策展開	事業用大規模建築物における廃棄物の減量及び再利用に関する計画書の提出により実態把握を行うなかで、発生抑制、排出抑制の推進等について、指導・監督を強化していく。			
平成 27 年度の取り組み内容	・廃棄物減量および再利用に関する計画書を提出させた。計画書に基づき、市内 9 校の現地調査を行った結果、分別および減量化、資源化がされていることが確認できた。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑩店頭回収の拡大(店頭回収)

施策展開	市民の多様な生活様式に対応するためにも、白色トレイ、ペットボトル、牛乳パックなど店頭回収されている品目のうち未実施品目の追加や新たな品目の追加を、スーパー等に働きかけていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店頭回収未実施店舗に協力依頼を行い、実施店舗数を拡大した。</li> <li>・店頭回収を実施している店舗を、市ホームページや各種イベントで紹介した。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
店頭回収 実施店舗数	30 店舗	30 店舗	100.0%	40 店舗

⑩店頭回収の拡大(自動販売機脇回収ボックス)

施策展開	自動販売機脇の回収ボックス設置の拡大を働きかけていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量等推進員の協力のもと、回収ボックスの設置状況調査を実施した。</li> <li>・廃棄物減量等推進員からの情報提供等により、未設置箇所への設置依頼を行った。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
自動販売機脇回収 ボックス設置率	80.0%	84.5% ※1	105.6%	87.0%

※1 平成 27 年度実績は、平成 27 年 6 月調査時点のもの。



(2) 再使用に関する取り組み

①フリーマーケット、不用品交換の推進(フリーマーケット)

施策展開	フリーマーケットは市民のリユースの場として定着しているが、その効果を十分に把握し、さらなる発展を意識した展開も視野に入れていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源循環部が実施するフリーマーケットで、出店者のニーズ把握のためアンケートを実施し、内容充実につなげた。</li> <li>・秋水園において、とんぼサポーター2主催によるフリーマーケットを実施した。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
市内全体のフリーマーケット開催回数	12 回	17 回	141.7%	12 回

①フリーマーケット、不用品交換の推進(不用品交換)

施策展開	「とんぼ市」に関しては、その出品内容について再度精査、管理運用を徹底することで、より安心して市民が活用できる場として提供していく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業認知拡大に向けて、美住リサイクルショップ内に案内看板を設置し、不用品交換成立件数増加につなげた。</li> <li>・とんぼ市の利用申請をする際に、可能な限り写真を添付してもらうこととした。</li> <li>・フリーマーケットなどの各種イベントで事業の情報提供を行った。</li> <li>・毎月1回、とんぼ市での不用品交換情報が掲載された「夢ハウス予定表」を発行し、市内公共施設で配布した。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
「とんぼ市」不用品交換成立件数	180 件	114 件	63.3%	200 件

②家具等の再使用の促進

施策展開	粗大ごみのうち再使用が可能な家具等については、再使用に向けた効果的、効率的な新たなルートの活用について、収集の方法も含めて検討を行っていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じて再生家具類の確保を強化し、平成 27 年度は、約 19 トンの再生家具類の引き抜きを行った。美住リサイクルショップでの販売実績は、再生家具類販売件数 1,185 件、販売金額 1,205,100 円であった。</li> </ul>			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

## 基本方針 2 合理的な収集と資源化の推進

### (1) 合理的な収集に関する取り組み

#### ① 収集形態の変更検討

施策展開	より効率的で市民負担の軽減の可能性のある、かん、びん、有害物、ペットボトル、古紙・古着について、ステーション収集方式から戸別収集方式への変更の検討を行っていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	・平成 26 年度において、収集形態を変更した。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

#### ② 収集区分・処理方式の変更検討

施策展開	収集形態の変更の検討にあわせて、施設での選別・処理を合理的に組み合わせていくため、かん、びん、有害物、ペットボトル、容器包装プラスチックのうちいくつかの品目の混合収集について検討を行っていく。また処理方式について、民間活用や袋の除去作業、機械や手作業による選別等が、効率的に行えるよう動線や設備の整備を検討していく。			
平成 27 年度の取り組み内容	・平成 26 年度において、収集区分・処理方式を変更した。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

#### ③ 円滑な収集・運搬の推進

施策展開	引き続き円滑で効率的な収集・運搬を行っていくよう委託業者に指導を行っていく。あわせて安全運転の励行、温室効果ガスの低減に配慮したアイドリングストップや車両の導入等の協力を求めていく。			
平成 27 年度の取り組み内容	・収集業者との連絡会議等において、ごみ収集車の安全運転等について周知徹底をした。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

(2) 資源化の推進に関する取り組み

① 生ごみの資源化の推進

施策展開	生ごみ集団回収事業を通じて生ごみの資源化を進めることとし、参加世帯数の伸び悩み等に対しては、参加のしやすさやコストなどの要素を検討しながら取り組んでいく。			
平成 27 年度の取り組み内容	・ 市民産業まつり等のイベントにおいて、情報提供及び事業への参加呼びかけを行った。 ・ 市ホームページや、啓発紙「ごみ見聞録」等で情報提供を行った。 ・ 事業参加者を対象に生ごみ処理施設の見学会を実施した。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
生ごみ集団回収 参加世帯数	185 世帯	135 世帯	73.0%	500 世帯

### 基本方針3 安全で確実な処理体制の構築

#### (1) 安全で確実な処理体制の構築に関する取り組み

##### ①施設の維持・整備の推進

施策展開	定期点検及び必要な維持補修、整備の実施により、引き続き安全で確実な処理を行っていく。			
平成27年度の取り組み内容	・定期点検補修工事、クレーン年次点検補修工事を実施した。			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

##### ②焼却灰のエコセメント化の継続

施策展開	焼却灰については引き続きエコセメント化事業により、資源化を推進していく。			
平成27年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京たま広域資源循環組合の焼却残渣受入基準を遵守し、エコセメント化工場へ搬入した。</li> <li>・焼却残さの放射性物質濃度の測定を実施し、基準内であることを確認した。測定結果は市ホームページに掲載するとともに、東京たま広域資源循環組合へ報告した。</li> </ul>			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

##### ③ごみ焼却施設の延命化工事の実施

施策展開	毎年実施する施設維持にかかる整備では対応できない大規模な改修やこれまで着手したことのない設備の更新を含め、平成22年度から2か年でごみ焼却施設の約10年間の延命化及び耐震化工事を実施し、施設の耐久性、安全性、効率性の向上及び温室効果ガス排出の抑制を図っていく。			
平成27年度の取り組み内容	・平成23年度に工事を完了した。			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
温室効果ガス 排出量				

④熱回収設備の利用検討

施策展開	ごみ焼却施設から発生する余熱の有効活用について、既設熱回収設備をもとに検討を行っていく。			
平成 27 年度の 取り組み内容	・平成 24 年度に検討を終了した。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑤資源化施設の整備

施策展開	効率的で機能的な資源化施設（リサイクルセンター）を整備し、周辺 の生活環境の向上とさらなるリサイクルの推進を図っていく。			
平成 27 年度の 取り組み内容	・平成 26 年度にリサイクルセンターを整備した。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

⑥ごみ処理施設更新の検討

施策展開	既存ごみ焼却施設の延命化工事後は、施設の安全性及び効率性等を考 慮しながら、周辺自治体との広域的な連携・支援体制の検討を含め、 ごみ処理施設更新の検討を行っていく。			
平成 27 年度の 取り組み内容	・ごみ処理施設に関する研修会への参加等による情報収集を行った。 ・平成 28 年度に実施する、ごみ処理施設あり方検討会に向けた準備を 行った。			
数値目標	平成 27 年度 目標数値	平成 27 年度 実績数値	平成 27 年度 目標達成率	平成 32 年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

## 基本方針4 情報提供や環境学習の充実

### (1) 情報提供や環境学習の充実に関する取り組み

#### ①啓発活動の推進

施策展開	あらゆる機会を通じて市民・事業者の理解と協力を得るための啓発や情報提供を行っていく。ごみ見聞録や夢ハウスだより等の啓発誌についてはそれぞれの役割を見定めながら、さらに充実を図るよう努めていく。あわせて新たな情報の更新が容易なホームページの活用、充実を更に図っていく。			
平成27年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発紙「ごみ見聞録」の取材や資料の収集等を効率的に進め、内容充実を図った。</li> <li>・市ホームページを積極的に活用し、最新情報を随時更新した。</li> <li>・「ごみ・資源収集カレンダー」について、寄せられた意見を参考に、内容の更なる充実を図った。</li> </ul>			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

#### ②講座・学習・イベントの推進

施策展開	店頭や自治会等への出前講座を市民と直接的な対話の場として、積極的に実施していく。新たな学習の場として施設見学会等の企画により、家庭での分別の重要性や処理の流れなどの市民理解を深める方策を検討していく。また、各種イベント等の機会を見つけて、これらに積極的に参加し、啓発活動に努めていく。			
平成27年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢ハウスまつりやリサイクルフェア等の各種イベントに参加し、啓発活動や情報提供を行った。</li> <li>・スーパーや自治会等で出前講座を実施し啓発を行った。</li> <li>・美住リサイクルショップ運営委員による市民ごみ講座を実施した。</li> </ul>			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
出前講座開催回数	45回	39回	86.7%	50回

#### ③集合住宅の排出指導強化

施策展開	一部の集合住宅の集積所の中には、分別ルールや収集日を守らないごみが出されるケースが目立つことから、これらの集合住宅の管理人、オーナー、入居者に対して、ルール徹底の指導を強化していく。			
平成27年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量等推進員や収集業者等と連携し、分別が適切でない集合住宅の情報収集を行った。</li> <li>・管理会社の協力を得て、分別が適切でない集合住宅において、分別説明会を実施した。</li> <li>・分別説明会を実施しても分別が改善されない集合住宅には、排出指導を行った。</li> </ul>			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
排出指導実施回数	15回	15回	100.0%	15回

#### ④学校への出前授業等の実施

<p>施策展開</p>	<p>学校での出前授業等を実施することで、次世代を担う児童・生徒が資源化やルールに関する意識や理解を高めていけるように、教育委員会・学校との連携を図っていく。ひいては、児童、生徒の意識の高まりを通じて、家庭での意識改革に繋がられるよう努めていく。</p>			
<p>平成 27 年度の 取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページで、出前授業の内容や資料について情報提供した。</li> <li>・学校の協力を得て、出前授業の教材や内容の充実を図った。</li> <li>・「秋水園のしおり」を作成し、施設見学者に資料として配布した。施設見学がなかった学校では、出前授業時に「秋水園のしおり」を配布して説明を行った。</li> </ul>			
<p>数値目標</p>	<p>平成 27 年度 目標数値</p>	<p>平成 27 年度 実績数値</p>	<p>平成 27 年度 目標達成率</p>	<p>平成 32 年度 最終目標数値</p>
<p>出前授業実施校数</p>	<p>14 校</p>	<p>15 校</p>	<p>107.1%</p>	<p>22 校</p>



## 基本方針5 市民・事業者との協働

### (1) 市民・事業者との協働に関する取り組み

#### ① 廃棄物減量等推進員の活動推進

施策展開	53丁に配置されている廃棄物減量等推進員と市との意思疎通や連携を強化するとともに、研修会などを通じ、推進員相互の協働を促していく。			
平成27年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量等推進員の集団資源回収・広報・研修・生ごみ減量・レジ袋削減・店頭回収・排出指導強化の各部会と協働で、各施策を進めた。</li> <li>・日の出町にある二ツ塚廃棄物広域処分場の視察研修を実施した。</li> <li>・夢ハウスまつりや市民産業まつり等のイベントへの参加を呼びかけ、廃棄物減量等推進員と協働で、啓発活動や情報提供を行った。</li> </ul>			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

#### ② 市民組織への支援と協働及び連携の推進

施策展開	既存の市民組織への情報提供や技術支援等をさらに進めるとともに、市民組織と行政が企画立案の段階から協議を行い、活発な事業展開を推進していく。さらに活動団体どうしの連携を促進していく。			
平成27年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体の運営委員会や会議に参加し、情報の共有化を図るとともに、自立した活動を進められるようサポートした。</li> <li>・リサイクルフェアを各団体が主体となって実施できるよう、実行委員会による準備を進め、実施につなげた。</li> <li>・夢ハウスまつりや市民産業まつり等の各種イベントに、各団体と連携して参加し、啓発活動や情報提供を行った。</li> </ul>			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				

#### ③ 市民・事業者との協働の推進

施策展開	市民・事業者との協働に心がけながら、各分野における施策の推進を図っていく。			
平成27年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報、啓発紙、市ホームページを通じて、秋水園の事業計画や施策などについて情報提供を行った。</li> <li>・廃棄物減量等推進員や収集業者、市民団体と連携し各施策を進めた。</li> <li>・資源物の持ち去り防止強化のため、GPS追跡調査を行い、搬入先の古紙問屋に対して、受け入れをしないよう依頼を行った。</li> </ul>			
数値目標	平成27年度 目標数値	平成27年度 実績数値	平成27年度 目標達成率	平成32年度 最終目標数値
数値目標設定なし				



東村山市一般廃棄物処理基本計画 実行計画  
平成 27 年度実績報告書

平成 28 年 8 月発行

発行：東村山市資源循環部  
〒189-8501 東京都東村山市本町 1 丁目 2 番地 3  
TEL：042-393-5111(代) FAX：042-391-5847  
(事務所：東村山市秋津町 4 丁目 17 番地 1)